

## 神戸山スキークラブ 年末白馬山行 の記録

1. 日程 平成 30(2018)年 12 月 29 日(土)~30 日(日)

1 日目 栂池高原スキー場から天狗原

2 日目 白馬コルチナスキー場トップから黒川沢 その後ゲレンデスキー

2. 参加者 藤田(正)、池淵、小村(龍)、小村(京)、中村 (ゲレンデスキー:丸尾 2 日目は小村(京)も)

### 1 日目 12 月 29 日(土) 栂池高原スキー場から天狗原

神戸を前日の 22 時頃出発し、現地の宿に 6 時前に到着し、約 2 時間の仮眠をとる。ゴンドラ前の無料駐車場は既に満車で、少し離れた有料駐車(1000 円)に停める。9 時頃に栂池高原のゴンドラ乗車。



栂池高原スキー場の栂の森ゲレンデのリフトトップから林道途中に合流し、ここからシールを装着して山行開始、先行者のトレースはあり。1 週間前の「山スキー体験企画」の際は、この林道は固いトレース雪だったが、その後、大量の降雪があった模様。早大小屋前の積雪はご覧の通り。



天狗原までの登りは、板を外すと腰まではまる程度の積雪。成城大学小屋手前から、先行の外国人ツアーグループがヒヨドリ峰に向かったため、その後は、かすかに残ったトレースを頼って、天狗原を目指し、交代でラッセルし高度を稼ぐ。



強風のため天狗原直下の樹林帯で、ハイクアップを終了し、ここから成城小屋を目指し滑降する。降雪は、120 cmのストックを雪面に突き刺すと特に圧力変化ない均一層で、ちょうどグリップが埋まった時に底突きする程度の積雪量。

視界が十分でないため、できるだけ森林帯の尾根筋の斜面を滑降した。また、一度転倒したり、板を外してしまうと起き上がったり履くのにとても苦勞することとなった。



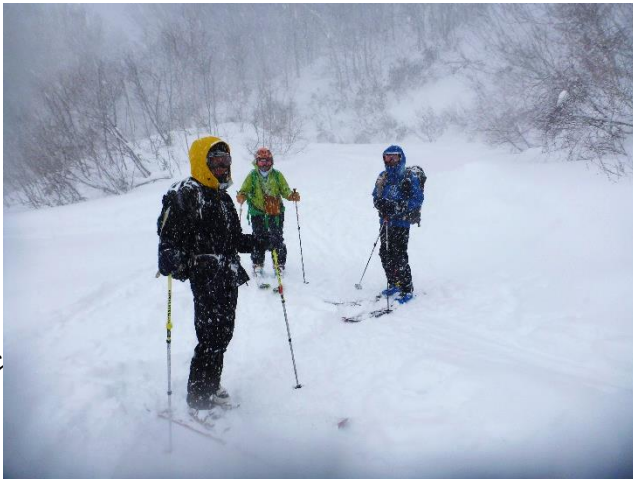








一日中降雪が続いたため林道のトレースも消えかけており、帰りの林道は下りラッセルら状態で疲れた。



梅の森ゲレンデとの合流点で山行終了(15 時頃)。その後、レストハウスで休憩後、駐車場まで滑り、本日の宿の「ペンション神戸っ子」に戻る。



## 2日目 12月30日(日) 白馬コルチナスキー場トップから黒川沢

宿から、ホテルグリーンプラザホテル前の駐車場へ移動。少し、ゲレンデスキー後、込み合うリフト2本を乗り継いで、ゲレンデトップに。黒川沢方向に、林間を滑走。積雪量はまだ少ないが、白馬乗鞍スキー場まで滑降。その後は、各自、ゲレンデ内を滑降した。

(2日目の写真はないが、動画撮影あり)

ゲレンデの状況として、コルチナ側では、稗田山コース2と稗田山コース3とジャイアントコースが、滑走者も少なく急斜面の長い新雪が残っており、不整地新雪滑降の練習にはよかった。また、自己責任の林間エリアもまだまだ新雪が滑走できた。

また、乗鞍温泉側では、アルプス第10リフト沿いのスカイビューゲレンデには新雪が残っており、さらに同リフトに向かって右側のゲレンデ外の斜面は、下まで十分な積雪でつながっていないものの、午後でもシュプールなしの深雪が滑降できた。

14時30分に終了し、22時ごろ帰神。

